

国語 科目 論理国語

2 单位

)

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を重視してその能力の向上を図る態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

[illegible]

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語
 教科：国語 科目：文学国語 単位数： 単位
 対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組
 使用教科書：（ 数研出版「文学国語」 ）

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

[illegible]

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 古典

教 科： 国語 科 目： 古典 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 5 組～ 6 組

使用教科書： （ 第一学習社 高等学校 標準古典探究 ）

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通してものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとし、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元 物語（一）『伊勢物語』『筒井筒』 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 平安朝の庶民にまつわる物語を読み、和歌を中心とした文章展開のおもしろさを味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み、滑稽味のある内容について理解を深めようとしたり、過去、完了の助動詞の意味を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明しようとして定期考査	・指導事項 和歌の修辞法に注意しながら、和歌の贈答や平安社会の文化について理解を深める。 ・教材 教科書 ノート ワークシート 古典文法ワーク・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・歌物語の特徴について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・学習の見通しを持って歌物語を読み、文章	○	○	○	8
							○	○		1
	単元 説話（一）『十訓抄』『文字一つの返し』 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、制約のある中でふさわしい返歌をした成範の機転を味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	・指導事項 口語訳のみに頼らず、文章展開の論理性、面白みについて理解を深める。 ・教材 教科書 ノート ワークシート 古典文法ワーク	○	○	○	・平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、制約のある中でふさわしい返歌をした成範の機転を味わう。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 ・編者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。 ・積極的に説話を読み、成範の機転とはどのようなことであったか理解を深めようとしている。 ・助動詞「る」「らる」の意味を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明しようとしている。	○	○	○	10
	単元 随筆（一）『徒然草』『公世の二位のせうとに』 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の鋭い観察眼を通して綴られた、世の諸事象に関する随筆を読んで、世の諸事象に関する随筆を読んで、ものの見方・考え方を深める。 ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。	・指導事項 本文内容を踏まえて、当時の社会と無常観の在り方について理解を深める。 ・教材 教科書 古典文法ワーク ノート	○	○	○	・作者の鋭い観察眼を通して綴られた、世の諸事象に関する随筆を読んで、ものの見方・考え方を深める。 ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。	○	○	○	12
							○	○		1
2 学 期	単元 物語（二）『竹取物語』『かぐや姫の昇天』 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力を知ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって平安初期の作り物語を読み、伝奇的な特徴について、進んで理解を深めようとしている。	・指導事項 内容の読解だけでなく、文学史上の価値も踏まえて理解する。 ・教材 教科書 ノート ワークシート 古典文法ワーク	○	○	○	・平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れる。 ・伝奇的作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・文章を読み、課題に応じて調査した成果をまとめたり発表したりする。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	単元 物語（三）『源氏物語』『光る君誕生（若紫）』 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端を知ることができる。 定期考査	・指導事項 物語の読解にとどまらず、既習事項と文学史上の繋がりに対する理解を含める。 ・教材 教科書 古典文法ワーク 古文単語帳 ノート ワークシート	○	○	○	・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 ・今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形や心理描写の一端を知ることができる。	○	○	○	12
							○	○		1

3 学 期	単元 故事成語「画竜点睛」 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	・指導事項 漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、故事成語に親しむ。 ・教材 教科書 ノート ワークシート	○	○	○	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	○	○	○	6
	単元 故事成語「朝三暮四」 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	・指導事項 知っている「故事成語」を答えさせ、その背景となる「寓話」に対する理解を深める。 ・教材 教科書 ノート ワークシート	○	○	○	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。				7
	定期考査						○	○		1
										70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地理歴史・公民科 科目 歴史総合

教科： 地理歴史・公民科 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組 ～ 6 組

使用教科書：（ 実教出版『歴史総合』 ）

教科 地理歴史・公民科 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と歴史に関して、調査や諸資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明することができる。

【学びに向かう力、人間性等】 我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目	歴史総合	の目標：
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。	歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
	【学びに向かう力、人間性等】	
	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 ・「近代化」について考察する。 ・18 世紀の日本やアジア・ヨーロッパの結びつきを理解する。	第 1 章 近代化への胎動 ・江戸時代の日本と東アジア ・江戸時代の諸改革 ・幕政改革と東アジア ・「近代化」について考察する。	【知識・技能】 近代化に関わる史資料を読み解く技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組み、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとする。	○	○	○	6
	B 単元 ・欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したか理解する。	第 2 章 欧米の市民革命 ・イギリスの産業革命とアメリカの独立 ・フランス革命 ・アメリカの発展 ・アヘン戦争と日本の開国	【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 ・近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのか理解する。	第 3 章 欧米諸国と日本の国家形成 ・イギリスとフランスの繁栄 ・明治政府の諸改革 ・日本のアジア外交と国境問題 ・自由民権運動	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸国の変容を比較・関連させて考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとする。	○	○	○	8
	D 単元 ・日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化したのか理解する。	第 4 章 帝国主義 ・帝国主義の時代へ ・日清戦争 ・日露戦争 ・日本の産業革命	【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

2 学 期	A 単元 ・第一次世界大戦は、日本を含む世界の人びとにとってどのような戦争になったのか理解する。	第5章 第一次世界大戦 ・第一次世界大戦 ・ロシア革命とソ連 ・米騒動 ・ワシントン体制	【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発時から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々が戦争に協力した目的について考察し、自分の言葉で表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会に生み出した課題について考察し、解決策を追究しようとする。	○	○	○	8
	B 単元 ・欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのか理解する。	第6章① 経済危機 ・第一次世界大戦後 ・社会運動と普通選挙	【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と大衆社会の到来が現代社会に生み出した課題を考察し、解決策を追究しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 ・大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのか理解する。	第6章② 第二次世界大戦 ・世界恐慌と各国の対応 ・ファシズム ・満州事変と日中戦争 ・第二次世界大戦	【知識・技能】 世界恐慌への各国の対応が世界情勢に与えた影響と、ソ連のスターリン独裁の功罪について理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 単元 ・第二次世界大戦を経て、国際秩序はどのように変化したのか理解する。	第7章 冷戦と脱植民地 ・朝鮮戦争と日本 ・植民地の独立 ・米ソ陣営	【知識・技能】 冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序を日本と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのか考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が現代社会に与える影響について考察し、解決策を追究しようとする。	○	○	○	5
	B 単元 ・「グローバル化」について考察する。 ・冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどのような選択をしたのか理解する。	第8．9章 グローバル化 ・石油危機と世界経済 ・日本の経済大国化 ・地域紛争と対立	【知識・技能】 55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦期における各国の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのか考察し、解決策について追究しようとする。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 4 単位
対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組
使用教科書： （ 新編 数学Ⅱ（数研出版） ）

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標： いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 ・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。 ・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。	1. 3次式の展開と因数分解 2. 二項定理 3. 多項式の割り算 4. 分数式とその計算 5. 恒等式 6. 等式の証明 7. 不等式の証明	【知識・技能】 ・三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。 ・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、説明できるようにする。	○	○	○	15
	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。	1. 複素数とその計算 2. 2次方程式の解 3. 解と係数の関係	【知識・技能】 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。 ・二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・二次方程式の解を学習した複素数と関連付け多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
	第2節 高次方程式 ・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。	4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式	【知識・技能】 ・因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・高次方程式の解の求め方を剰余の定理や因数分解と関連付け多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。	○	○	○	10
	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 ・座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円	【知識・技能】 ・座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。 ・座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	第3節 軌跡と領域 ・図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域	【知識・技能】 ・軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。 ・簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・軌跡と領域の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	○	○	○	10
	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 ・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 ・加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	1. 角の拡張 2. 三角関数 3. 三角関数のグラフ 4. 三角関数の性質 5. 三角関数を含む方程式、不等式 6. 加法定理 7. 加法定理の応用	【知識・技能】 ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解することができる。 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解することができる。 ・三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	○	○	○	15
	定期考查			○	○	○	1
	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 ・指数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数	【知識・技能】 ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 ・指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	○	○	○	15
	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 ・微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	1. 微分係数 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式	【知識・技能】 ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・関数とその導関数との関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・関数とその導関数との関係を用いて、問題を解決することができる。	○	○	○	20
	定期考查			○	○	○	1
3 学 期	第2節 関数の値の変化 第3節 積分法 ・導関数の理解を深めるとともに、導関数の有用性を認識できるようにする。 ・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	4. 関数の増減と極大・極小 5. 関数の増減・グラフの応用 6. 不定積分 7. 定積分 8. 定積分と面積	【知識・技能】 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解することができる。 ・不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。	○	○	○	25
	定期考查			○	○	○	1
							合計 140

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 数学 科目 数学B

教 科： 数学 科 目： 数学B 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 4 組

使用教科書：（ 数研出版 新編数学B ）

教科 数学 の目標： 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、活用する態度を育てる。

- 【知 識 及 び 技 能】概念や原理・法則を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したりし、表現・処理する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考察する力、他の事象との関係を認識し考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、粘り強く考え判断しようとする態度、解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

科目 数学B の目標： 数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和	【知識・技能】 等差数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。記号 Σ の意味と性質を理解し、数列の和が求められる。 【思考・判断・表現】 等差数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。群数列を理解し、ある特定の群に属する数の和が求められる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等比数列の和の公式を導こうとする意欲がある。数列の規則性を、隣り合う2項の差を用いて発見しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	第2節 いろいろな数列 和の記号 Σ の表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。	第2節 いろいろな数列 6. 和の記号 Σ 7. 階差数列 8. いろいろな数列の和		○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	第3節 漸化式と数学的帰納法 数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。	第3節 漸化式と数学的帰納法 9. 漸化式 10. 数学的帰納法	【知識・技能】 漸化式の意味を理解し、具体的に項が求められる。数学的帰納法を用いて等式、不等式、自然数に関する命題を証明できる。確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。 【思考・判断・表現】 初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。自然数 n に関する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解している。確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。確率変数の積の期待値や和の分散と確率変数の性質との相互関係がとらえられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。2つの確率変数の和や積の期待値、分散に関する種々の公式を、確率変数が独立であるかどうかに関心しながら導こうとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解できるようにする。	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の和と積 4. 二項分布		○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	第2節 統計的な推測 母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	5. 正規分布 6. 母集団と標本 7. 標本平均の分布 8. 推定 9. 仮説検定	【知識・技能】 確率密度関数や分布曲線の定義を理解し、連続型確率変数について、確率を求めることができる。標本平均が確率変数であることを理解している。 【思考・判断・表現】 正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。推定や信頼区間の考え方がわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち、様々なデータについて考察しようとする。母平均や母比率の推定に関心を示し、信頼区間の幅と標本の大きさや信頼度との関係を考察しようとする。	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教 科： 理科 科 目： 物理基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ 新編 物理基礎 （数研出版） ）

教科 理科 の目標： 科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、科学的な自然観を育成する。

【知 識 及 び 技 能】科学が解明してきたことを理解し、その方法や意味を学ぶ。

【思考力、判断力、表現力等】論理的・科学的思考の仕方を習得すると共に人に伝える能力も高める。

【学びに向かう力、人間性等】本質を探究していく体験から主体的に学ぶ姿勢を育む。

科目 物理基礎 の目標： 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理基礎に関する知識の習得や知識の概念的な理解を目指し、実験操作の基本的な技術を習得する。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけていく。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとする力を身につけていく。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 【知識及び技能】 ・物体の速さの式、およびx-t図・v-t図を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・速の意味・表し方を理解し、物体の運動のようすを考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の運動から、速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもち、速さと速度の違いなどを理解しようとする。	・指導事項 基本的内容を問題演習を通して理解する。 ・教材 プリント・教科書・ワーク 一人1台端末の活用 等 プリントをTEAMSを介して生徒に配布し、生徒は一人1台端末上で書き込んだり保存したりする。実験プリントについても、模範例を同様に配布し、生徒はそれを確認し理解する。	【知識及び技能】 ・物体の速さの式、およびx-t図・v-t図を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・速の意味・表し方を正しく理解し、それをもとに物体の運動のようすを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の運動から、速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもち、速さと速度の違いなどを理解している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第1編 運動とエネルギー 第2章 運動の法則 【知識及び技能】 ・物体にはたらく力が指摘できつりあいや運動方程式の式を立てられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作用・反作用とつりあいの違いを理解し、2力の間の関係について説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物体の運動状態は、受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心をもち、理解しようとする。	・指導事項 基本的内容を問題演習を通して理解する。 ・教材 プリント・教科書・ワーク 一人1台端末の活用 等 プリントをTEAMSを介して生徒に配布し、生徒は一人1台端末上で書き込んだり保存したりする。実験プリントについても、模範例を同様に配布し、生徒はそれを確認し理解する。	【知識及び技能】 ・物体にはたらく力が指摘でき、つりあいの式を立てることができる。 ・運動をしている物体について、運動方程式を立てて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作用・反作用とつりあいの違いを理解し、2力の間の関係について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物体の運動状態は、受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心をもち、理解しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第1編 運動とエネルギー 第3章 仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 ・運動エネルギーの変化はされた仕事に等しいことを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物体の運動をエネルギーや仕事を通じて説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・運動している物体はどのようなエネルギーをもっているかについて興味をもち考えさせる。	・指導事項 基本的内容を問題演習を通して理解する。 ・教材 プリント・教科書・ワーク 一人1台端末の活用 等 プリントをTEAMSを介して生徒に配布し、生徒は一人1台端末上で書き込んだり保存したりする。実験プリントについても、模範例を同様に配布し、生徒はそれを確認し理解する。	【知識及び技能】 ・運動エネルギーが $1/2 \times mv^2$ であることを理解している。 ・運動エネルギーの変化は物体にされた仕事に等しいことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・運動エネルギーがどのようなものかを理解し、説明できる。 ・運動エネルギーの変化は物体にされた仕事に等しいことを用いて、物体の運動を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・運動している物体はどのようなエネルギーをもっているかについて興味をもち考えようとしている。	○	○	○	8
	第2編 熱 【知識及び技能】 ・温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などを正しく理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常的な事象を、学習内容に照らし説明できるようにする。 ・温度や熱容量、比熱はどのような物理量か、自分の言葉で説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ものの温まりやすさなど、熱にかかわる現象について興味関心をもち、理解させる。	・指導事項 基本的内容を問題演習を通して理解する。 ・教材 プリント・教科書・ワーク 一人1台端末の活用 等 プリントをTEAMSを介して生徒に配布し、生徒は一人1台端末上で書き込んだり保存したりする。実験プリントについても、模範例を同様に配布し、生徒はそれを確認し理解する。	【知識及び技能】 ・温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解されている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常的な事象を、学習内容に照らし合わせて説明できる。 ・温度や熱容量、比熱はどのような物理量か、自分の言葉で説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ものの温まりやすさなど、熱にかかわる現象について興味関心をもち、理解しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第3編 波 【知識及び技能】 ・波の発生原理や基本事項、音の波としての性質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・波の伝わるようすを、グラフで表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な波の現象に興味をもち、波の発生原理や基本事項について理解しようとする。	・指導事項 基本的内容を問題演習を通して理解する。 ・教材 プリント・教科書・ワーク 一人1台端末の活用 等 プリントをTEAMSを介して生徒に配布し、生徒は一人1台端末上で書き込んだり保存したりする。実験プリントについても、模範例を同様に配布し、生徒はそれを確認し理解する。	【知識及び技能】 ・波の発生原理や基本事項、音の波としての性質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・波の伝わるようすを、グラフで表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な波の現象に興味をもち、波の発生原理や基本事項について理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第4編 電気 【知識及び技能】 ・電流と電圧の基礎について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・電気回路における、接続ごとの電流、電圧の大きさについて適切に理解しており、説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常で使う電気を踏まえて、ジュール熱や電力について、主体的に考えることができるようにする。	・指導事項 基本的内容を問題演習を通して理解する。 ・教材 プリント・教科書・ワーク 一人1台端末の活用 等 プリントをTEAMSを介して生徒に配布し、生徒は一人1台端末上で書き込んだり保存したりする。実験プリントについても、模範例を同様に配布し、生徒はそれを確認し理解する。	【知識及び技能】 ・電流と電圧の基礎について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・電気回路における、接続ごとの電流、電圧の大きさについて適切に理解しており、説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常で使う電気を踏まえて、ジュール熱や電力について、主体的に考えることができる。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

[illegible]

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 3 組～ 6 組

使用教科書：（ 教育芸術社 高校生の音楽② ）

教科 芸術 の目標：
【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら、よさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A みんなで歌おう 【知識及び技能】 曲想と歌詞の内容を理解し、歌詞との関わりについて理解を深め、楽曲にふさわしい発声や言葉の発音の技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 メッセージ性のある歌詞を歌うことを楽しみながら、主体的・協働的に取り組む。	・発声の基本を振り返る。 ・歌詞に込められているメッセージを正しく理解する。 ・楽曲にふさわしい歌い方や表現を考える。 「糸」	○			○	A みんなで歌おう 【知識及び技能】 様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、言葉の特徴をとらえ、楽曲に応じた発声などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 発声の基本及び歌詞に込められているメッセージ性のある歌詞を歌うことを楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	B ヨーロッパの歌（イタリア） 【知識及び技能】 イタリア語の発音や曲にふさわしい発声とともに、8分の6拍子特有のリズムを意識して、個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】 8分の6拍子特有のリズムを意識して、個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア語の特性とそれにふさわしい発声、8分の6拍子の歌唱表現に主体的・協働的に取り組む。	・言葉の美しい響きを感じながら、拍の流れにのって歌う。 ・イタリア語の発音とベルカント唱法を理解する。 ・8分の6拍子を理解する。 「うつろな心」	○			○	B ヨーロッパの歌（イタリア） 【知識及び技能】 ・言葉の特性と曲種に応じた発声と関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア語の特性とそれにふさわしい発声、8分	○	○	○	10
2 学 期	C ヨーロッパの歌（ドイツ） 【知識及び技能】 ドイツ語の発音の特徴（子音、ウムラウトなど）、言葉のリズムと旋律との関わりを理解し、表現の工夫をして歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉（歌詞）のリズムと旋律の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ドイツ歌曲に関心をもち、それぞれの楽曲の雰囲気をもって、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組む。	・曲想の異なる2つのドイツ語の曲を、それぞれの特徴を把握しながら効果的に歌い上げ、2つの曲の個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。 「君はまるで花のよう」 「おれは鳥刺し」	○			○	C ヨーロッパの歌（ドイツ） 【知識及び技能】 ・言葉の特性と曲種に応じた発声と関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、言葉の特徴をとらえ、楽曲に応じた発声などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉（歌詞）のリズムと旋律の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ドイツ歌曲に関心をもち、それぞれの楽曲の雰囲気をもって、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	D 器楽（手拍子） 【知識及び技能】 それぞれの奏者の演奏する役割をもって、互いにリズムや音の響きを感じ取りながら、手拍子のアンサンブルを楽しみ、表現の工夫をする。 【思考力、判断力、表現力等】 互いの音の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについての表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 手拍子でのアンサンブルの演奏をすることに関心をもち、主体的・協働的に演奏活動に取り組む。	・易しいリズムパターンを組み合わせて、綿密なアンサンブルを構築する。 「クラッピング・カルテット」		○		○	D 器楽（手拍子） 【知識及び技能】 ・曲想と楽曲の構造（手拍子で表現するリズムアンサンブル）との関わりについて理解している。 ・楽曲にふさわしい音色でアンサンブルを構築している。 【思考力、判断力、表現力等】 互いの音の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについての表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 手拍子でのアンサンブルの演奏をすることに関心をもち、主体的・協働的に演奏活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10

	E オペラ 【知識及び技能】 メルヘンオペラとしての『魔笛』の内容や登場人物と音楽との関係を理解するとともに、歴史的背景として啓蒙主義がこの作品に与えた影響を理解して聴く。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 作品のあらすじや、モーツァルトの生きた時代とその歴史背景を理解することに關心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	・オペラ公演の映像を観賞し、物語の歴史的背景を理解するとともに、歌手の技量が発揮されるアリアやユーモラスで幸福感にあふれる二重奏を聞いて、オペラの魅力を感じる。				E オペラ 【知識及び技能】 メルヘンオペラとしての『魔笛』の内容や登場人物と音楽の関係性を理解するとともに、歴史的背景として啓蒙主義がこの作品に与えた影響を理解して聴いている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 作品のあらすじや、モーツァルトの生きた時代とその歴史背景を理解することに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				8
3学期	F 日本の伝統音楽 【知識及び技能】 日本の伝統音楽の特徴を理解して、平家平家の音楽表現の共通性と固有性を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感受したこととの関わりについて考えると同時に、曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 平家における琵琶と語りの関係に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	・日本の伝統音楽の特徴を理解して、平家の曲節のうち口節と中音の模範演奏を聴いて語りのまねをする。 『平家』 琵琶				F 日本の伝統音楽 【知識及び技能】 日本の伝統音楽の特徴を理解して、平家平家の音楽表現の共通性と固有性を考えている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感受したこととの関わりについて考えると同時に、曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 平家における琵琶と語りの関係に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				8
	G 器楽・創作（BGM） 【知識及び技能】 音楽材、サウンドピース、メロディーの骨格を表したいイメージと関わらせて創作する。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 サウンド系のBGMもしくはメロディー系のBGMをつくることに興味をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。	・朗読、演劇、映像などからBGMをつける対象を選び、どの場面のBGMをつくるかを決める。 ・サウンド系のBGMもしくはメロディー系のBGMをつくる。 ・つくったBGMを発表し、コメントをする。				G 器楽・創作（BGM） 【知識及び技能】 音楽材、サウンドピース、メロディーの骨格を表したいイメージと関わらせて創作している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもって創っている。 【学びに向かう力、人間性等】 サウンド系のBGMもしくはメロディー系のBGMをつくることに興味をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。				12 合計 70

[illegible]

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ Vivid English Communication Ⅱ 第一学習社 ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】外国語によるコミュニケーションの取り方、考え方を養うのに必要な基礎的な知識・技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】外国語を聞く、読む、話す、書くことの言語活動を適切に結び付け、コミュニケーションをとれる

【学びに向かう力、人間性等】外国語によるコミュニケーションを積極的に取ろうとし、また、その能力を養おうと努力する。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	Lesson 2 “Our Beloved Yellow Fruit” 【知識及び技能】 ・ seem to～, It is…(for A) to～, 強調について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・ 主語文と支持文の関係に注意し、英文を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ パナナの特徴や危機についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 英語での対話文の特徴を理解しようとしている。 ・ 聞き手に配慮して、詳しく発表しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。また、それに加え、また、教科書以外の副教材として、 ・ 『英検分野別10分ドリル準2級』 ・ 『英単語ターゲット1200』 ・ Pair&Share 1 ・ Focus on Listening Pre-Standard を使用して、英検に対応する力や語彙力を強化する	○	○	○	○		単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未満はCとする。 評価の方法としては、 ・ 単語テスト ・ 振り返りシート ・ 音読課題 ・ 音読テスト ・ 発表 ・ ライティング課題 等を使用する。 この授業では英語によるコミュニケーションを重視するため、文法的な指導は最小限にとどめ、多くの英語に触れて、4技能5領域を伸ばすことを重点的に指導し、また、評価する。	○	○	○	26
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	Lesson 3 “Preparing for Potential Risks” 【知識及び技能】 ・ It is 形容詞 that節、完了形について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・ 指示表現や言い換え表現に注意して英文を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 自然災害と防災についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 英語でのプレゼンテーションの方法を理解し聞き手に配慮して、詳しく発表しようとする。	左記の目標に書かれた内容を指導する。また、それに加え、また、教科書以外の副教材として、 ・ 『英検分野別10分ドリル準2級』 ・ 『英単語ターゲット1200』 ・ Pair&Share 1 ・ Focus on Listening Pre-Standard を使用して、英検に対応する力や語彙力を強化する				○		単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未満はCとする。 評価の方法としては、 ・ 単語テスト ・ 振り返りシート ・ 音読課題 ・ 音読テスト ・ 発表 ・ ライティング課題 等を使用する。 この授業では英語によるコミュニケーションを重視するため、文法的な指導は最小限にとどめ、多くの英語に触れて、4技能5領域を伸ばすことを重点的に指導し、また、評価する。	○	○	○	12
	Lesson 4 “To Make a More Open Society” 【知識及び技能】 ・ SVC, 関係代名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・ 文と文のつながりを示すぐに注意して、英文を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 整理した内容を活用して、文化交流やイベントのポスターを作り、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 英語のポスターの特徴を理解し、読み手に配慮して詳しくポスターを描こうとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。また、それに加え、また、教科書以外の副教材として、 ・ 『英検分野別10分ドリル準2級』 ・ 『英単語ターゲット1200』 ・ Pair&Share 1 ・ Focus on Listening Pre-Standard を使用して、英検に対応する力や語彙力を強化する		○			○	この授業では英語によるコミュニケーションを重視するため、文法的な指導は最小限にとどめ、多くの英語に触れて、4技能5領域を伸ばすことを重点的に指導し、また、評価する。	○	○	○	14
	定期考査		○	○			○		○	○		1
2 学 期	Lesson 5 “True Love between a Cat and a Dog” 【知識及び技能】 ・ 受け身の動詞、連行形、関係副詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・ 未知語の意味を推測しながら英文を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 文のくぐり文のしのがしに過ぎたじかんときすなについて確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 英語のブックレビューの特徴を理解しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。また、それに加え、また、教科書以外の副教材として、 ・ 『英検分野別10分ドリル準2級』 ・ 『英単語ターゲット1200』 ・ Pair&Share 1 ・ Focus on Listening Pre-Standard を使用して、英検に対応する力や語彙力を強化する			○			単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未満はCとする。 評価の方法としては、 ・ 単語テスト ・ 振り返りシート ・ 音読課題 ・ 音読テスト ・ 発表 ・ ライティング課題 等を使用する。 この授業では英語によるコミュニケーションを重視するため、文法的な指導は最小限にとどめ、多くの英語に触れて、4技能5領域を伸ばすことを重点的に指導し、また、評価する。	○	○	○	14
	Lesson 7 “Cloning Cultural Properties” 【知識及び技能】 ・ 時や理由などを表す副詞節、分詞構文、関係代名詞+前置詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・ 句読法に注意し、英文を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 整理した内容を活用して、保存すべき文化財や芸術作品を紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 聞き手に配慮して、文化財や芸術作品を詳しく紹介しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。また、それに加え、また、教科書以外の副教材として、 ・ 『英検分野別10分ドリル準2級』 ・ 『英単語ターゲット1200』 ・ Pair&Share 1 ・ Focus on Listening Pre-Standard を使用して、英検に対応する力や語彙力を強化する	○	○			○	この授業では英語によるコミュニケーションを重視するため、文法的な指導は最小限にとどめ、多くの英語に触れて、4技能5領域を伸ばすことを重点的に指導し、また、評価する。	○	○	○	14
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	Lesson 8 “Peace Messages from Hiroshima” 【知識及び技能】 ・ 前置、SVOC、同格のthatについて理解を深め、これらを適切に活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 整理した内容を活用して、世界平和のために活動している人たについて書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 英語でのディスカッションの方法を理解しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。また、それに加え、また、教科書以外の副教材として、 ・ 『英検分野別10分ドリル準2級』 ・ 『英単語ターゲット1200』 ・ Pair&Share 1 ・ Focus on Listening Pre-Standard を使用して、英検に対応する力や語彙力を強化する					○	単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未満はCとする。 評価の方法としては、 ・ 単語テスト ・ 振り返りシート ・ 音読課題 ・ 音読テスト ・ 発表 ・ ライティング課題 等を使用する。 この授業では英語によるコミュニケーションを重視するため、文法的な指導は最小限にとどめ、多くの英語に触れて、4技能5領域を伸ばすことを重点的に指導し、また、評価する。	○	○	○	14
	Lesson 9 “Invigorating Our Local Community” 【知識及び技能】 ・ 省略、完了不定詞、仮定法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・ 文と文のつながりを示す語句に注意して、英文を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 若者の地域社会への参画や貢献についての確に理解しその内容を整理して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 読み手に配慮して、地域社会への関わり方について詳しく書くこととしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。また、それに加え、また、教科書以外の副教材として、 ・ 『英検分野別10分ドリル準2級』 ・ 『英単語ターゲット1200』 ・ Pair&Share 1 ・ Focus on Listening Pre-Standard を使用して、英検に対応する力や語彙力を強化する	○	○	○	○	○	この授業では英語によるコミュニケーションを重視するため、文法的な指導は最小限にとどめ、多くの英語に触れて、4技能5領域を伸ばすことを重点的に指導し、また、評価する。	○	○	○	14

	定期考査		○	○		○		○	○	○	1
3 学 期	Lesson 10 “The Underside of Wildlife Tourism” 【知識及び技能】 ・倒置、完了形の分詞構文、as if 仮定法、複合関係詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・文章全体の展開注意して、英文を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ワイルドライフツーリズムの裏側とSNSの影響についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。緩急問題について論理的な文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・読み手に配慮して、環境問題について詳しく論理的な文章を書くことができる。	左記の目標に書かれた内容を指導する。また、それに加え、また、教科書以外の副教材として、 ・『英検分野別10分ドリル準2級』 ・『英単語ターゲット1200』 ・Pair&Share 1 ・Focus on Listning Pre-Standard を使用して、英検に対応する力や語彙力を強化する	○	○	○	○	○			28	
		単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未達はCとする。 評価の方法としては、 ・単語テスト ・振り返りシート ・音読課題 ・音読テスト ・発表 ・ライティング課題 等を使用する。 この授業では英語によるコミュニケーションを重視するため、文法的な指導は最小限にとどめ、多くの英語に触れて、4技能5領域を伸ばすことを重点的に指導し、ま						○	○	○	合計 140

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教 科： 外国語 科 目： 論理・表現Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ MY WAY Logic and Expression Ⅱ （三省堂） ）

教科 外国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方やコミュニケーションをとるための知識・技能を習得す

【思考力、判断力、表現力等】外国語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を適切に結び付け、コミュニケーションをとれる思考力、判断力、表現力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】外国語によるコミュニケーションを積極的に取ろうとし、また、その能力を養おうと努力する。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えを工夫して文章を書いて伝えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、自身や自身の周りのことなどについて、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文であれば、相手の気持ちや考えを論理的に理解することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	読 話 [や] 話 [発] 書				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			読	話 [や]	話 [発]	書					
1 学 期	Lesson 1 I Love My Country! Special Activity 友だちのことを深く知ろう	・指導事項 【話題】 学校生活・社会生活：これまでの経験についての会話や好きな場所を紹介する表現を学ぶ。 【文法】 完了形・未来表現：完了形や未来表現を使った文を適切に作る。 【機能】 話しかける・気持ちを伝える・質問する/事実・情報を伝える：情報を追加したり感想を言うなどして関連する話題について会話を続ける。 【表現】 話すこと[やりとり]：これまでの経験について会話する。 書くこと：好きな場所を紹介する発表の原稿を書く。	○	○	○	○	【知識・技能】 完了形の文を用いて、これまでの経験を話したり、発表の原稿を書いたりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 これまでの経験について話したり、自身のことについて表現したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの経験を話したり、発表の原稿を書いたりしようとしている。	○	○	○	6
	Lesson 2 The New Wave of Sports Special Activity スポーツ大会の会場までの道案内をしよう	・指導事項 【話題】 学校生活：週末の予定についての会話や最新のものを紹介する表現を学ぶ。 【文法】 助動詞・be+to不定詞：助動詞や、be+to不定詞を使った文を適切に作る。 【機能】 相づちを打つ・考えや意図を伝える・質問する/事実・情報を伝える：情報を追加したり感想を言うなどして関連する話題で会話を続ける。 【表現】 話すこと[やり取り]：週末の予定について会話する。 話すこと[発表]：最新のものを紹介する発表をする。	○	○	○	○	【知識・技能】 週末の予定や最新のものについて、表現し合う知識・技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 週末の予定や最新のものについて、表現し合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 週末の予定や最新のものについて、表現し合おうとしている。	○	○	○	7
	定期考査							○	○		1
	Lesson 3 The Future of Technology Special Activity 国当てクイズをしてみよう	・指導事項 【話題】 学校生活：印象深かった授業について話したり、贈り物について説明したりする表現を学ぶ。 【文法】 受動態、不定詞：受動態と、不定詞の基本用法の構造と概念を理解する。 【機能】 相づちを打つ・質問する/事実・情報を伝える：情報や感想などを加えて詳しく説明する表現を学ぶ。 【表現】 話すこと[やり取り]：印象深かった授業について話す。 書くこと：贈り物について説明する文章を書く。	○	○	○	○	【知識・技能】 印象深かった授業や贈り物について、表現する知識・技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 印象深かった授業や贈り物について、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 印象深かった授業や贈り物について、表現しようとしている。	○	○	○	7
	Lesson 4 Rediscover <i>Kabuki</i> Special Activity 小話を演じてみよう	・指導事項 【話題】 学校生活：日本の文化やそれを紹介するときの表現について学ぶ。 【文法】 不定詞・知覚動詞、使役動詞：不定詞の応用表現と、知覚、使役動詞の用法を理解し、適切に文を作ったり、表現したりする。 【機能】 気持ちや考え、意図を伝える：情報を追加したり感想を言う表現を学ぶ。 【表現】 話すこと[やり取り]：日本の文化について会話をする。 話すこと[発表]：日本の文化を紹介する発表をする。	○	○	○	○	【知識・技能】 日本の文化について紹介する知識・技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本の文化について、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の文化について、表現しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査							○	○		1

2 学 期	Lesson 5 Welcome to Our Town Special Activity 観光案内をしよう	・指導事項 【話題】 学校生活：道案内の表現や、地域について紹介する表現を学ぶ。 【文法】 助動詞・受動態：助動詞や受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝える。 【機能】 説明する・話題を発展させる・依頼する／説明する・理由を述べる：様々な表現を用いて、話題を発展させたり、理由を述べたりする。 【表現】 話すこと[やり取り]：いろいろな科学技術について会話をする。 書くこと：社会の状況と職業についてのレポートを書く。	○	○	○	○	〔知識・技能〕 科学技術や職業について、表現し合う知識・技能を身に付けている。 〔思考・判断・表現〕 科学技術や職業について、表現し合っている。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 科学技術や職業について、表現し合おうとしている。	○	○	○	6
	Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife Special Activity ホテルでのトラブル解決ロールプレイをしよう	・指導事項 【話題】 学校生活：大きさを身近なものに例えたり、有名な場所を紹介する表現を学ぶ。 【文法】 比較：様々な比較の用法を学ぶ。 【機能】 気持ちや考え、意図を伝える／事実・情報を伝える：情報を追加して詳しく説明する表現を学ぶ。 【表現】 話すこと[やり取り]：大きさなどを身近なものに例える。 話すこと[発表]：世界や日本で有名な場所を紹介する発表をする。	○	○	○	○	〔知識・技能〕 大きさを例えたり、場所を紹介する発表をするための知識・技能を身に付けている。 〔思考・判断・表現〕 大きさを例えたり、場所を紹介する発表をし合っている。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 大きさを例えたり、場所を紹介する発表をしようとしている。	○	○	○	7
	定期考査							○	○		1
	Lesson 7 Can We Go and Live on Mars? Special Activity ディスカッションゲームをしよう	・指導事項 【話題】 学校生活：火星や、そこでの生活についての表現を学ぶ。 【文法】 関係詞：関係詞の用法を用いて表現する。 【機能】 事実・情報を伝える／考えや意図を伝える：情報を追加して詳しく説明する表現を使用する。 【表現】 話すこと[やり取り]：火星について会話をする。 書くこと：火星での生活についてのレポートを書く。	○	○	○	○	〔知識・技能〕 火星やそこでの生活について、表現し合う知識・技能を身に付けている。 〔思考・判断・表現〕 火星やそこでの生活について、表現し合っている。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 火星やそこでの生活について、表現し合おうとしている。	○	○	○	7
	Lesson 8 Language and Society Special Activity ミニディベートをしてみよう	・指導事項 【話題】 学校生活：旅行に行く友達との会話についての表現や、現実ではない状況下の発表の表現を学ぶ。 【文法】 仮定法：仮定法に関する様々な用法と表現を学ぶ。 【機能】 気持ちや考え、意図を伝える／事実・情報を伝える：情報を追加したり感想を言うなどして会話を続ける。また、現状との比較をする表現を学ぶ。 【表現】 話すこと[やり取り]：旅行に行く友達との会話を続ける。 話すこと[発表]：「もし○○がなければ」というタイトルの発表をする。	○	○	○	○	〔知識・技能〕 旅行に行く友達との会話や、「もし○○がなければ」というタイトルの発表のための知識・技能を身に付けている。 〔思考・判断・表現〕 旅行に行く友達との会話や発表のために表現し合っている。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 旅行に行く友達との会話や発表のために、表現し合おうとしている。	○	○	○	6
	定期考査							○	○		1

3 学 期	Lesson 9 Send Our Love to the World Special Activity 身近な社会問題について意見を 言ってみよう	・指導事項 【話題】 学校生活 ：悩み事を伝えたり、社会問題についての発表原稿を書く表現を学ぶ。また、健康について説明する方法を学ぶ。 【文法】 否定、代名詞 ：否定表現や代名詞を使った様々な用法と表現を理解する。 【機能】 事実・情報を伝える ：情報を追加したり感想を言うなどして、会話を続けたり詳しく説明したりする。 【表現】 話すこと[やり取り] ：悩み事を伝える会話を する。 書くこと ：社会問題についての発表原稿を書く。	○	○	○	○	【知識・技能】 悩み事を伝えたり、社会問題について書く知識・技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 悩み事を伝えたり、社会問題について書いたりして表現し合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 悩み事を伝えたり、社会問題について書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	6
	Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps Special Activity 私たちの未来を語ろう	・指導事項 【話題】 学校生活 ：調べ学習での会話や、人物を紹介する表現を学ぶ。 【文法】 無生物主語、thatを使った表現 ：無生物主語やthatを使った様々な表現を学ぶ。 【機能】 気持ちを伝える／事実・情報を伝える ：情報を追加したり感想を言うなどして詳しく説明する。 【表現】 話すこと[やり取り] ：調べ学習での会話を する。 話すこと[発表] ：関心のある人物を紹介するスピーチをする。	○	○	○	○	【知識・技能】 調べ学習で会話したり、人物を紹介する知識・技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 調べ学習で会話したり、人物を紹介するために表現し合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 調べ学習で会話したり、人物紹介のために表現し合おうとしている。	○	○	○	6
	定期考査							○	○		1
											合 計
											70

【知 識 及 び 技 能】基礎的なことについて理解しているとともにそれらによる技能を身につけている

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から問題を見出して 課題を設定し 課題を解決する 力を身につけている

【学びに向かう力、人間性等】共同し 自分や家庭 地域の生活の充実 向上を図るために実践しようとする

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族 家庭及び福祉 飲食 住 消費生活環境などの基礎的なことについて理解しているとともにそれらによる技能を身につけている	生涯を通して家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして 課題を設定し 解決策を構想し 実践を評価 改善し 考察したことを根拠に基づいて 論理的に表現するなどして 課題を解決する力を身につけている	様々な人々と協働し、より良い社会の 構築に向けて 課題の解決に主体的に取り組んだり 振り返って改善したりして 地域社会に参画しようとするとともに 自分や家庭 地域の生活の充実 向上を図るために実践しようとしている

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生涯を見通す 【知識及び技能】・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。・自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。	・指導事項 生涯を見通す 人生を展望する 目標を持って生きる ・教材 教科書 補助資料 ・一人1台端末の活用 等	A 生涯を見通す 【知識及び技能】・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。・自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	6
	B 人生をつくる 【知識及び技能】・生涯発達の視点で青年期の課題を理解する。・家族・家庭の機能と家族関係について理解を深める。・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深める。・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】・男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。	・指導事項 人生をつくる 家族・家庭を見つめる これからの家庭生活と社会 ・教材 教科書 補助資料 ・一人1台端末の活用 等	B 人生をつくる 【知識及び技能】・生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。・家族・家庭の機能と家族関係について理解を深めている。・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】・男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						

C 衣生活をつくる 【知識及び技能】・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解する。・被服材料について理解する。・被服構成について理解する。・被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。・被服衛生について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。	・指導事項 被服の役割を考える 被服を管理する これからの衣生活 家族・家庭を見つめる これからの家庭生活と社会 ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	C 衣生活をつくる 【知識及び技能】・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解している。・被服材料について理解している。・被服構成について理解している。・被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。・被服衛生について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	6
D 衣生活をつくる 【知識及び技能】・健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理をする。 【思考力、判断力、表現力等】・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 衣生活をつくる 被服を入手する 衣生活の文化と知恵 これからの衣生活 ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	D 衣生活をつくる 【知識及び技能】・健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。 【思考力、判断力、表現力等】・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
E こどもと共に育つ 【知識及び技能】・乳幼児期の心身の発達と生活について理解する。・親の役割と保育について理解する。・乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。・子供を取り巻く社会環境について理解する。・子育て支援について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 こどもと共に育つ 命を育む こどもの育つ力を知る これからの保育環境 ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	E こどもと共に育つ 【知識及び技能】・乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。・親の役割と保育について理解している。・乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。・子供を取り巻く社会環境について理解している。・子育て支援について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	7

2 学 期	F 超高齢化社会をともに生きる 【知識及び技能】・高齢者を取り巻く社会環境について理解する。・高齢期の心身の特徴について理解する。・高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解する。・生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 超高齢化社会をともに生きる 超高齢・大衆長寿社会の到来 高齢者の心身の特徴 ・教材 教科書 補助資料 ・一人1台端末の活用 等	F 超高齢化社会をともに生きる 【知識及び技能】・高齢者を取り巻く社会環境について理解している。・高齢期の心身の特徴について理解している。・高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。・生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						
	G 食生活をつくる 【知識及び技能】・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解する。・食品の栄養的特質について理解する。・食品の調理上の性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】・食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 食生活をつくる 食生活の課題について考える 食事と・食品 食生活の選択と安全 ・教材 教科書 補助資料 ・一人1台端末の活用 等	G 食生活をつくる 【知識及び技能】・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。・食品の栄養的特質について理解している。・食品の調理上の性質について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

3 学 期	H 経済生活を営む 【知識及び技能】・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解する。・生活情報を適切に収集・整理する。・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解する。・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費者保護の仕組みについて理解する。・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。・責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。	・指導事項 経済生活を営む 情報の収集・比較と意思決定 消費者の権利と責任 これからの経済生活 ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	H 経済生活を営む 【知識及び技能】・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解している。・生活情報を適切に収集・整理できる。・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解している。・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費者保護の仕組みについて理解している。・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。・責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	○	○	○	7
	G 食生活をつくる 【知識及び技能】・健康や環境に配慮した食生活について理解する。・食品衛生について理解する。・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解する。・おいしさの構成要素について理解する。・目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。・自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】・食の安全について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 食生活をつくる 食生活の課題について考える 食事と栄養・食品 これからの保育環境 ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	G 食生活をつくる 【知識及び技能】・健康や環境に配慮した食生活について理解している。・食品衛生について理解している。・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。・おいしさの構成要素について理解している。・目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。・自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】・食の安全について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計 70

日本橋 高等学校 令和7年度（2 学年） 教科 総合的な探究の時間 科目

教 科： 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ なし ）

教科 総合的な探究の時間 の目標： 横断的・探求的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決能力を育成するとともに、自己の生き方を考えることができるようにする

【知 識 及 び 技 能】課題の発見と必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解している

【思考力、判断力、表現力等】自分で課題を見つけ、自分で課題を立て、情報を集め、整理分析し、自らまとめ表現している

【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、新たな価値を創造しよりよい社会を実現しようとしている

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
自分のことを知り、よりよい自分を形成する、自分と向きあう力を身につける。 ①探究課題に関する知識を身につける②探究で得た技能を日常生活の様々な場面において活用させる③探究の意義を理解させる		他者との関わりの中で、人を認め協力し合える、人と向きあう力を身につける。 ①適切に課題を設定させる ②目的に応じて手段を選択し、情報を収集する力を育てる③視点を定めて多様な情報を分析する力を育てる		課題を見つけ、解決へ導こうとする。 ①探究を通して、自己を見つめ、自分の個性や特徴に向き合う態度を育てる②自他の良さを認め特徴を生かしながら、協働しようとする意欲を育てる			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・基礎学力診断テスト 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己理解 【学びに向かう力、人間性等】 ・将来設計	・ベネッセのスタディーサポート を利用し、基礎学力の診断と進路 希望及び学習習慣の調査を行う ・一人一台端末を活用し、調査結 果をもとに、自己の学力状況と進 路希望に向けた課題を分析し理解 する ・進路実現に向けた必要な取り組 みの設計をする	【知識・技能】 ・学力テスト 【思考・判断・表現】 ・自己の進路希望に鑑み、学習状況とその成 果を振り返り、課題を発見し今後の学習計画 を立てられたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・将来設計に意欲を持ち、積極的に取り組め たか	○	○	○	6
	【知識及び技能】 ・大学や専門学校の分野を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ・オープンキャンパスの予約をする ため自分に適した大学や専門学 校を判断する 【学びに向かう力、人間性等】 ・模擬授業に積極的に参加する	・大学や専門学校による模擬授業 に参加する ・ベネッセのスタディーサポート を利用し、大学や専門学校のオー プンキャンパスの予約をする	【知識・技能】 ・模擬授業のレポートを提出できたか 【思考・判断・表現】 ・自己の進路希望に鑑み、夏休みにオープン キャンパスに参加する計画を立てられたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・模擬授業に関心を持ち、積極的に参加でき たか	○	○	○	8
2 学 期	【知識及び技能】 ・学力テストの結果を踏まえて、進路希 望に沿った科目選択の仕方について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ・次年度の選択科目を決定できる 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己の将来設計に興味を持ち、科目選 択をしようとしているか	・学力テストを受ける ・選択科目について知る ・選択科目を決定する	【知識・技能】 ・選択科目について知っている ・学力テストの結果について振り返ることができる 【思考・判断・表現】 ・自己の進路希望を踏まえて科目選択ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学力テストに向けて事前学習・事後学習に取り組 んでいる	○	○	○	7
	【知識及び技能】 ・修学旅行先（愛媛・広島）について知 る 【思考力、判断力、表現力等】 ・修学旅行先について調べられる 【学びに向かう力、人間性等】 ・プレゼンテーションに向けて協力する	・一人一台端末を活用し、修学旅 行先について調べ学習を行う	【知識・技能】 ・修学旅行先についての知識が身についたか 【思考・判断・表現】 ・グループでプレゼンテーションの準備ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループ発表に向けて準備に積極的に参加できる				6
3 学 期	【知識及び技能】 ・修学旅行について他の班の発表を見たり 聞いたりして、知識を増やす 【思考力、判断力、表現力等】 ・グループ発表を行う ・互いの意見が異なるときに話し合いが できる 【学びに向かう力、人間性等】 ・発表に向けて他者と協力できる	・一人一台端末を活用し、修学旅行先について 調べ学習及び発表を行う	【知識・技能】 ・修学旅行に向けて知識が身についたか 【思考・判断・表現】 ・グループ発表を協力して行えたか ・互いの意見が異なるときに話し合いの仕方が身に ついたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・発表に向けて他者と協力できたか	○	○	○	8
				合計 35			